

平成21年度第1回文化財審議会議事概要

- 1 開催日時 平成21年7月24日(金) 午後1時30分～3時
- 2 開催場所 教育委員会大会議室
- 3 出席者 (委員)梅村委員、金丸委員、河東委員、古里委員
欠席者 (委員)浅間委員、佐野委員、西川委員
(事務局)今関教育長、山根生涯学習部長、斉藤参事兼課長、西沢主幹、渡辺主幹、
岡村主査長、辻主査長、工藤主任

4 傍聴者 0人

5 議題

(1)会長・副会長選出

(2)事務報告

- 1)指定事務事業の進捗状況について
- 2)ふるさと雇用再生特別基金事業、緊急雇用創出事業について
- 3)都市再生整備計画について
- 4)埋蔵文化財発掘調査について
- 5)我孫子白樺文学館について

6 会議の概要

<課長・教育長挨拶>

斉藤課長 挨拶

今関教育長 挨拶

<委嘱状交付>

今関教育長より各委員に委嘱状交付

<新任委員挨拶>

古里委員 挨拶

<部長挨拶・職員紹介>

生涯学習部長 挨拶、担当職員紹介

<会長・副会長選出>

委員の互選により、梅村委員が会長、金丸委員が副会長に選出される。

<事務報告>

1)指定文化財事務の進捗状況について

事務局説明 現在、やや遅れているが、旧杉村楚人冠邸の指定事務を進める。主屋・澤の家・茶室・倉庫の4件を指定するための調書を作成したい。河東委員の指導を受け、できれば年内に市指定文化財としたい。

質疑・回答

河東委員 史跡として指定するのか、建物として指定するのか。

事務局 史跡としては、都市計画道路等の問題もあり、今回は建物のみを対象に考えている。

2)ふるさと雇用再生特別基金事業、緊急雇用創出事業について

事務局説明 今年度政府の雇用対策事業として急遽出てきた事業。文化・スポーツ課としては、ふるさと雇用再生特別基金事業として、1旧杉村楚人冠邸の管理事業。緊急雇用創出事業として、2発掘調査データ整理事業と3歴史的建造物候補建築物現況調査事業の3件を計画している。

質疑・回答

会長 3の事業年度は21～22年度か。

事務局 3が今年度のみで、2が21～22年度事業になる。

河東委員 資料の2ページの説明で3の基準が築概ね40年とあるが、40年とした基準はあるか。

事務局 登録文化財の要件の50年から先まで使えるデータということで、40年とした。

河東委員 50年と40年10年の違いで資料が倍になる可能性がある。ちょうど高度成長期と重なっている。

事務局 抽出したデータ量により基準年は変更を考えている。

河東委員 千葉県近代和風建築のデータは利用できる。

3)都市再生整備計画について

事務局説明 手賀沼文化拠点整備計画の前期事業を盛り込んで計画した。事業の所管は市のいろいろな部署にわたるが、文化・スポーツ課は6つの事業を予定している。この整備計画は本年度から平成25年度までの5ヵ年事業になる。エリアとしては文化拠点計画の範囲よりは狭く、我孫子駅東南地区に限定している。

質疑・回答

会長 旧村川別荘のポケットパークの場所はどこか。

事務局 今、一般公開している場所の南西の道路を挟んだ未利用の三角地になる。

会長 サイン整備の内容はどういうものか。

事務局 我孫子市のサイン計画に基づく仕様の史跡等に至る誘導サインの設置を予定している。

古里委員 資料の水色のラインは散策路ということか。

事務局 現在は生活道路となっているところを散策路として利用しようと考えている。

河東委員：文化人の旧宅というのは我孫子の文化の特色と考えられるが、それら資料の収集、データベース化などはどこかでやっているか。

事務局 文化・スポーツ課で行っている。現在、資料を収集している段階で、ある程度データが集まった段階で次のステップを考えている。

河東委員 志賀直哉邸跡の再整備も当初の状態かそれに近い時期の資料に基づく必要がある。

事務局 志賀邸跡については、白樺文学館と連携した整備を考えている。現状は木が鬱蒼としていて、建物自体使いようがないという点もある。

河東委員 樹木は大変である。当初はなかった木が大きくなって建物を傷めることがよくある。緑を減らすことには抵抗があるが、整備する場合には切ることも考えなければならない。

4)埋蔵文化財発掘調査について

事務局説明 現在までに3件の調査を行っている。1番が3番(本調査)の確認調査で、2番も確認調査である。

5)白樺文学館について

事務局説明 4月から市の運営となった。地上3階地下1階になる。地下に音楽室があり、1階が受付兼図書室とコミュニティルーム、2階に常設展示室、と和室があり、和室に志賀邸の復元ジオラマを展示している。所蔵品は民芸関係のものが多いが、展示品が465点、蔵書が2,396点あり、雑誌「白樺」等貴重な資料がある。来年が白樺創刊100周年にあたるため、現在、企画展として「雑誌『白樺』創刊百周年記念展」を行っている。

以上